



つぐみ

図書館だより 第9号
2024年12月20日
石巻商業高校 図書館



今年も残すところあとわずか。図書館では冬休み前の特別貸出を実施中です。

選書会に行ってきました

11月28日(火)にヤマト屋書店中里店へ今年度2回目の選書会に行ってきました。図書委員がみなさんに読んでほしい本や、おすすめの本などをたくさん選んできました。小説や文庫、怖い本など色々なジャンルの本を約90冊購入してきました。準備ができた本より貸出ができます。

ぜひ冬休みの1冊として手に取ってみて下さい。



一部紹介

- 『北欧神話解剖図鑑』(蔵持不三也)/『ちいかわハングル』(ナガノ;Yumi)
- 『フランスの不思議なアンティークコレクション』(マラン・モンタギユ)
- 『とんでもないお菓子作り』(江口和明)/『タロットキャラ図鑑』(キャメレオン竹田)
- 『養老先生ガンになる』(養老孟司;中川恵一)/『夜空に浮かぶ欠けた月たち』(窪美澄)
- 『共感バカ』(池田清彦)/『少女地獄』(夢野久作)/『宝石の国』(市川春子)



『六人の嘘つきな大学生』

浅倉秋成/著 KADOKAWA/刊

図書委員のオススメ本

『六人の嘘つきな大学生』は、2024年11月22日に実写映画が公開されました。六人の大学生がそれぞれ秘密や嘘を抱えながら、友情や恋愛、裏切りが絡み合いながら六人での話し合いが進みます。次々と明かされていく秘密と嘘が、複雑な人間関係と予測不可能な展開を広げていきます。その展開の読めなさに最後の1ページまで引き込まれ、心の奥深くに残る余韻を与えてくれる一冊です。心理サスペンスや人間ドラマが好きな方にオススメしたい一冊です。

【3年 図書委員】

* 司書の本棚* (今月読んだ読んだ本の中から1冊紹介します)

親同士の再婚で姉弟になったちぐさと晴彦。新しく弟になった晴彦はブラが好きな男の子で・・・。「ふつう」の高校生を送ってきたちぐさにとって晴彦は「ふつう」じゃない？好きだったらいいじゃないか！読みやすい作品でした。

『ブラザーズ・ブラジャー』 佐原ひかり/著 河出書房新社/河出文庫/刊 12月は7冊読了。



新着図書案内



「*」マークがあるものは寄贈本です

〔000 総記〕

- 『情報分析力』 小泉悠/著
『学びの技 14歳からの探求・論文・プレゼンテーション』 登本洋子/伊藤史織/後藤芳文/著
* 『近藤誠一全集 VI』 近藤誠一/著

〔100 哲学〕

- 『花を飾ると、神舞い降りる』 須王フローラ/著

〔400 自然科学〕

- 『傷つきのこころ学』 宮地尚子/著

〔700 芸術〕

- 『パンドロぼうとほっかほカー』 柴田ケイコ/著
『モモ 絵本版』 ミヒャエル・エンデ/著
シモーナ・チェッカレッリ/絵
松永美穂/訳

- 『荒木飛呂彦の新・漫画術 悪役の作り方 (集英社新書)』 荒木飛呂彦/著

〔COMICS〕


- 『ブルーロック 31』 金城宗幸/ノ村優介/著
『税金で買った本 13』 ずいの/系山岡/著
『保健師がきた 2』 埜納タオ/著
『山田くんとLv999の恋をする 10』 ましろ/著
『ブルーピリオド 16』 山口つばさ/著

〔900 文学〕

- 『人魚が逃げた』 青山美智子/著
『生殖記』 朝井リョウ/著
『まず良識をみじん切りにします』 浅倉秋成/著
『アリアドネの声』 井上真偽/著
『耳に棲むもの』 小川洋子/著
『隣人のうたはうるさくて、ときどきやさしい』 白尾悠/著
『小説機動戦士ガンダム 水星の魔女 4』 矢立肇/富野由悠季/高島雄哉/著
『小説』 野崎まど/著
『ドヴォルザークに染まるころ』 町田そのこ/著
『その嘘を、なかったことには』 水生大海/著
『戦争語彙集』 オスタップ・スリヴィンスキー/著
ロバート・キャンベル/訳


〔文庫〕

- 『准教授・高槻彰良の推察 11 夏の終わりに呼ぶ声』 澤村御影/著
『時々ボソッとロシア語でデレる隣のアーリャさん 裏話』 燦々SUN/著
『涼宮ハルヒの劇場』 谷川流/著
『コンビニ兄弟 4 一テンダネス門司港こがね村店一』 町田そのこ/著



石巻商高校の
蔵書検索ができます

QR



リクエストが
簡単にできます

QR



おしらせ

☆返却を忘れていませんか

未返却の本はありませんか。年内に忘れずに返却しましょう。

☆冬休みの特別貸し出しについて

貸出冊数 一人10冊

返却日 令和7年1月10日(金)